

市町村名	読谷村
------	-----

令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ 駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	建設整備部 都市計画課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				Ⅲ-8

事業内容	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。
------	--

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)
--------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	---

		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	13,000	145,000			
	(b)予算現額	12,924	163,000			
	(c)増減額(b-a)	▲76	18,000	0		
	(d)繰越額			88,230		
	A.計(b+d)	12,924	163,000	88,230		
	B.執行済額	12,924	74,770	86,437		
	うち交付金充当額	10,339	59,816	69,149		
	次年度繰越額	0	88,230	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	45.9%	98.0%		
予算の状況の説明	調査段階では想定していなかった軟弱な地盤が確認されたため、対策について工法を検討するために不測の期間を要し、繰越となったが、適切な処理を行い予算を執行することが出来た。					

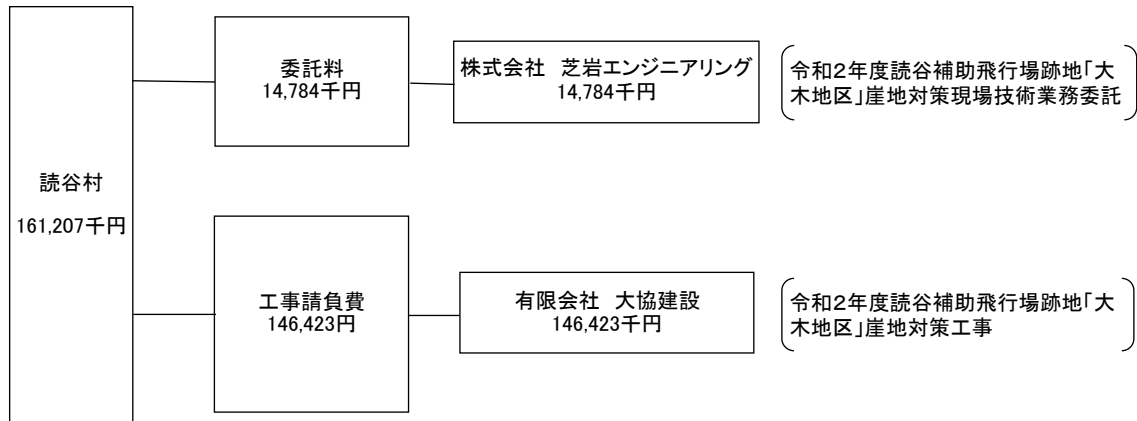
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
		崖地対策工事の一部実施	目標	()	(実施)	(実施)
		実績		実施	実施	
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	崖地対策工事を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	目標値(R3年度)	
		崖地対策工事の一部完了	目標	()	()	(完了)	(完了)	()
			実績			進捗45.9%	完了	
		【R3成果目標】 区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	目標	()	()	()	()	(約16,792㎡)
実績								
進捗状況説明	予定していた工事を完了し、目標を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	読谷補助飛行場跡地(大木地区)は、崖地と区画整理地の境界が隣接しており、住宅予定地が危険な状況にあったため、崖地対策工事が完了したことで安全を確保することが出来た。	大木土地区画整理組合の事業進捗状況にあわせ適切に維持管理を行う。
今後の取り組み方針		
工事完了後は、大木土地区画整理組合と調整を行いながら、当該地区の区画整理事業(地区整備)を進め、跡地利用を推進していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
161,207	161,207	128,965	32,242	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札しており妥当であったと考える ○予算規模は適正な規模であるとする ○費用・使途については事業目的の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	